

平成 27 (2015) 年 12 月 15 日
日本経営倫理学会
会長 梅津 光弘

会員各位

1 月度研究交流例会開催の件

2016 年 1 月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。
今回は当学会理事で伊藤園の笹谷秀光氏による報告を予定しております。また研究交流例会終了後に場所を移しまして新年会も兼ねました懇親会の開催も予定しております。参加者各位と幅広い意見交換を通して問題意識を共有できればと存じます。

記

- 1) 日 時 平成 28 (2016) 年 1 月 23 日 (土) 午後 14 時より午後 15 時 30 分
- 2) 場 所 経営倫理実践研究センター (BERC) セミナー室
- 3) テーマおよび報告者
14 時 00 分～15 時 30 分

「協創力が稼ぐ時代

－日本創生・地方創生における企業のステークホルダーエンゲージメント－

報告：笹谷 秀光 氏 (当学会理事、株式会社伊藤園常務執行役員)

報告概要

* 報告：笹谷 秀光 (ささや ひでみつ) 氏

「協創力」とは、関係者が連携・協力して新たな価値を生み出すことである。本報告は、企業の社会対応力 (CSR) と共有価値創造 (CSV) 戦略により、社会課題解決と持続可能な企業価値向上を実現するための、理論と実践を示すものである。

協働と発信で革新を呼び利益を生み出す共有価値創造の日本型戦略として、日本の「三方よし」の概念をポーター理論も活用して

「発信型三方よし」に補正して体系化した。

「協創力が稼ぐ時代」における企業の新たな競争戦略を、CSR/CSV 理論を活用して展開し、新グローバル時代の

「インバウンド消費」「クールジャパン」「情報通信技術活用」「国際都市東京」そして「地方創生」への実践的提言を行う。

専門的に言えば、企業の関係者連携活動である「ステークホルダーエンゲージメント」を日本創生・地方創生という社会課題に

応用するものである。

新著「協創力が稼ぐ時代」[ここをクリックすると参考 URL が出ます](#)→